

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

米国と欧州を合わせると世界の経済規模の4割を占める。米国およびEUやイギリスなどヨーロッパ経済の現状と今後について講義する。前半は、世界最大の経済規模を有する米国経済が世界経済において果たす役割、米国貿易摩擦、さらに後半は、EU経済圏の成立から今後の動向等を検討することにより、欧米経済の現状と課題及び世界経済の今後について講義する。

ロンドン大学長期研修のほか、米国企業のJPモルガン・チェース、アライアンス・バーンスタインなどでの実務経験に基づいて、欧米経済事情の観察方法について具体的に講義する。

授業計画

第1回	米国の政治経済システム
第2回	経済学と競争政策
第3回	企業システムと産業構造
第4回	所得格差と貧困問題
第5回	貿易・国際金融体制の変化
第6回	米国サブプライムローン危機
第7回	米中貿易摩擦について
第8回	EUの制度・機構
第9回	EUの市場統合の現状と課題
第10回	EUの通貨統合の現状と課題
第11回	欧州債務危機について
第12回	イギリスのEU離脱
第13回	EUと米国IT企業（Google、Apple、Amazon、Facebook）
第14回	欧米の自動車産業の競争
第15回	欧米の航空機メーカーの競争
第16回	期末試験

到達目標

実務経験に基づいて、欧米経済事情の観察方法について具体的に説明する。

- ・米国経済の現状および世界経済における米国の役割について理解し、課題について考察できること。
- ・EU各国経済のおよびEU経済の現状について理解し、課題について考えることができること。
- ・米国経済・欧州経済の課題について解答することができること。

履修上の注意

30分以上の遅刻は欠席とします。単位取得のため、10回以上、出席してください。指示されたとき以外はスマホを使用しないようにしてください。国際経済論、欧米経済事情も履修することが望ましい。

予習・復習

テキストや自作ノートを用いながら講義の予習・復習をしてください。欧米の経済事情について講義するため、新聞などをよく読んでください。授業中、小テストに解答できなかった場合、復習として回答を認める。

評価方法

小テスト（50%）、期末試験（50%）。小テストはテキストに沿って毎回3問。

テキスト

教科書は使用しません。授業資料はオンラインを通じて配布予定。